

## 令和4年度岩手県献血推進協議会 会議録

### 1 日時

令和5年1月20日（金） 10:00～11:00

### 2 場所

岩手県高校教育会館 大ホール

### 3 出席者

#### (1) 委員

宮田 剛 会長、阿部 圭次 副会長、伊藤 薫樹 委員、  
本間 博 委員（高橋 勝重 委員代理）、金澤 貴子 委員、平野 直 委員、  
増田 友之 委員、佐々木 靖 委員、藤本 誠 委員、  
内宮 明俊 委員、浅沼 千明 委員、佐藤 尚 委員、  
田崎 博之 委員、太田代 剛 委員、若槻 修 委員、  
一戸 俊行 委員、阿部 卓司 委員、松尾 尚人 委員、  
和田 靖 委員、熊谷 泰樹 委員、小原 勝 委員（佐藤 了一 委員代理）、  
佐藤 博 委員（菊池 勝彦 委員代理）

（欠席委員：鈴木 健二 委員、菊池 透 委員、宗形 金吉 委員、  
多田 一彦 委員、大坊 邦子 委員、松田 恵美子 委員、  
菅原 情子 委員、小形 恵一 委員、畠山 彩音 委員）

#### (2) 事務局

保健福祉部長 野原 勝、健康国保課総括課長 阿部 真治  
薬務担当課長 上山 昭、主査 築田 尚美、  
主査 近藤 誠一、技師 鈴木 ゆめ  
岩手県赤十字血液センター事業部長 梅野 真和、  
献血推進課長 佐藤 泉悦、推進係長 菊池 克也

### 4 会議の内容

#### (1) 開会

#### (2) あいさつ（野原保健福祉部長）

#### (3) 議事

##### ア 会長選出

会長に宮田剛委員が選出され、副会長に阿部圭次委員が指名された。

##### イ 報告

令和4年度献血推進事業等の概要について（資料No.1 鈴木技師、別添資料 菊池推進係長が説明）

##### ウ 協議

・令和5年度献血目標について（資料No.2 菊池推進係長が説明）

- ・令和5年度岩手県献血推進計画について（資料No.3 鈴木技師が説明）

2件とも案のとおり承認された。

[質疑応答]

Q1（宮田会長）

400mL献血推進を行うという話があった一方、目標設定は200mLで増加している。どのようなニーズを想定し、目標設定を行ったのか。

A1（血液センター 佐藤課長）

過去の実績、供給状況から需要予測を行っており、結果として令和4年と比較し増加した。

Q2（和田委員）

実体験上、成分献血を行う際、特に土日は予約をしても待ち時間が長いと感じている。

A2（血液センター 佐藤課長）

待ち時間の問題は認識している。要因を解析し、時間短縮に努めているが、今後も引き続き取り組み、改善を心掛けていく。

（血液センター 梅野事業部長）

成分献血に御協力いただき感謝申し上げます。待ち時間についても課題であるが、一方、製剤の有効期限を考慮すると、土日だけでなく平日に御協力いただける献血者の確保も課題である。

Q3（金澤委員）

若年層への啓発について、他の医療関係の教育と同様、小学生も対象とする考えはあるか。

A3（血液センター 佐藤課長）

コロナ禍以前は小学生を対象に血液センター見学会を実施していたが、中止・延期をしていた。再開等を含めて検討させていただく。

Q4（阿部 卓司委員）

献血者の不足状況の発信手段、例えばSNS等での発信等どのような手段をとっているか。状況が逼迫した際には、我々報道機関への情報提供も有効な手段では。

A4（血液センター 佐藤課長）

過去に報道機関へ依頼を行っていた時期もあったが、良くも悪くも反響が大きく、センセーショナルなものになってしまう側面があった。現在はWebサイト、ツイッター、ラジオ番組での報道を行っている。また、緊急度が高い場合はプレスリリースを実施している。

Q5（佐藤委員）

高校生への啓発が一方通行になっているのではないか。パンフレットの送付の他、CMコンクール、クリアファイルのデザイン依頼などの高校生自身の自発的な取り組みも検討してはいかがか。

A5（健康国保課 上山担当課長）

今年度はリピーターブックについて、大学生の御意見・御協力をいただいた。来年度以降、高校生の御協力をいただくことも検討していく。